

# ONE for ALL 8

Vol.73

月号

J-LEASE COMPANY NEWSLETTER

2019 August





【令和元年6月26日 第16回定時株主総会にて】

令和元年6月26日、第16回定時株主総会を開催いたしました。今回は株主総会にてご説明させていただきました内容をご報告いたします。

昨今の少子高齢化、晩婚化の進行、定住外国人の増加と、単身世帯の増加に伴い賃貸住宅の供給並びに入居需要は底堅く推移しており、家賃債務保証サービスに対する需要も引き続き好調に推移しております。

当社は今後とも市場環境の変化や顧客ニーズにあわせて変化することにより更なる事業拡大を目指してまいります。そのために以下の5項目に速やかに取り組んでまいります。

1点目は、「市場シェアの拡大」を目的に「営業ネットワークの拡充」と「サービス開発」に取り組んでまいります。

「営業ネットワークの拡充」につきましては、既存の店舗網を、大都市を始めとする基幹店と基幹店に属するサテライト店として体制整備を進め、基幹店を中心とした広域営業を展開し、各エリアにおける取引深耕とともに新規市場開拓と細やかな営業対応を実現し全国の営業ネットワークを一層拡充してまいります。

次に「サービス開発」につきましては、家賃債務保証に対する需要の高まりを受け、賃貸不動産業界も含め、時代のニーズにあわせた様々な技術革新や新たなサービスの導入も検討されております。当社もこれらの情報収集とニーズや環境変化への的確な対応を図り、既存の取引にとらわれない革新的サービスの開発と申込チャネルの拡大を図ってまいります。

2点目は、「良質な保証契約の拡大」を目的に「審査体制の強化」と「債権管理体制の強化」に取り組んでまいります。

「審査体制の強化」につきましては、保証契約の締結における与信精度の向上を図り、代位弁済立替金の発生を適切な水準に抑制することが重要であると考えております。7月以降は私が審査本部長を兼任し、これまで当社が培ってきたノウハウと稼働中の審査システムに加え継続的なスコアリング機能の向上を図り、様々な個人信用データも活用し、与信技術の革新と精度向上を図ってまいります。

次に、「債権管理体制の強化」ですが、家賃債務保証サービスは、賃料債務の不履行の都度代位弁済を行

title :

## 第16回定時株主総会報告

うものであり、毎月相当額の立替えと回収が発生するため、資金管理面からも債権管理回収の状況を重要視しております。債権管理部門の人員体制の強化、延滞状況に応じた組織対応や業務集約化、ITシステムの活用、弁護士や司法書士との連携を強化すること等によって総体的なリスクコントロールを図り、滞納債権の増加抑制に努めてまいります。

3点目は、「内部管理体制の強化」であります。

社会から信用・信頼され継続的な企業成長を行うため、経営管理体制の充実及びコンプライアンス体制の強化は重要な課題であると認識しております。

経営陣や従業員に対する研修の実施、人材の確保、業務手順の運用徹底などを通じて内部管理体制の一層の強化に努めてまいります。

4点目は、「財務基盤の強化」であります。

家賃債務保証事業においては、継続的な成長による安定した経営基盤・財務基盤の構築が重要であると認識しております。各種の施策による収益性の向上を図るとともに、安定した資金調達環境の構築、キャッシュフローの拡大に注力し、強固な財務基盤の構築に努めてまいります。

また、医療費保証サービスや不動産仲介事業といった新たな事業分野の開拓を進め、長期持続的な成長を目指した総合商社の構築を目指してまいります。

5点目は、「人材育成」であります。

これまでご説明した課題を達成するためには、優秀な人材の確保及び育成が最も重要と認識しております。階層別・職種別の社員教育や集合研修による社員間の連携強化によって、業務知識の向上とコンプライアンス意識の徹底を図り、顧客サービスの拡充を図ってまいります。

当社は、以上の事項を今期の重点課題とし「生活サポートの総合商社」として社会に貢献出来ますよう業務に邁進する所存でございます。今後とも皆さま方のより一層のご愛顧、お引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

令和元年7月3日  
ジェイリース株式会社  
代表取締役社長兼会長 中島 拓

# トップ会談

～『ONE for ALL, ALL for ONE』の精神を大分へ～

株式会社ダイプロ 代表取締役社長 大分県ラグビーフットボール協会 会長 山田 耕司 様



## 山田 耕司(やまだ こうじ)

大分県大分市出身

1955年生

1979年 西南学院大学商学部商学科卒業

1997年 株式会社ダイプロ 代表取締役社長就任(現任)

2016年 大分市ラグビーフットボール協会会長就任(現任)

2018年 大分県ラグビーフットボール協会会長就任(現任)

## 中島 拓(なかしま ひらく)

大分県大分市出身

1957年生

1980年 中央大学法学部卒

2004年 ジェイリース株式会社設立  
代表取締役社長就任(現任)

### 中島社長

本日はお越しいただきありがとうございます。

山田社長は青年会議所時代からの尊敬する大先輩です。

本日はよろしくお願いたします。

### 山田社長

こちらこそよろしくお願いたします。

### 中島社長

いよいよ今年はラグビーワールドカップ日本大会が開催されますね。

山田社長は大分県ラグビー協会の会長でいらっしゃる、ご自身も大分舞鶴高校が全国大会で初優勝したときのメンバーでいらっしゃいます。ラグビーとの出会いについてお聞かせいただけますか。

### 山田社長

中学生までは他のスポーツをしており、ラグビーとは無縁でした。大分舞鶴高校に入学し、なんとなく入部したのがラグビー部でしたが、実際に入部してみると、ハードな練習に加え、活動時間のほとんどが下働き、入部した同級生の半数以上が1年以内に退部しました。それでも監督に毎日言われていた「辛いことも我慢し努力すればきっと良いことがある」という言葉を信じて、ひたむきに頑張りました。

その努力が報われ、2年生で補欠メンバー、3年生でレギュラーの座を獲得しました。部活動での努力経験はそれからの人生の糧となりました。

### 中島社長

そうした努力をしてきたからこそ、全国大会で初優勝という偉業を成し遂げられたんですね。

ラグビーの精神で「ONE for ALL, ALL for ONE」という有名な言葉がありますが、実際にラグビーを通してその意味を感じた経験はありますか。

### 山田社長

すべてのスポーツにおいて、上を目指すには個々人の能力は必要ですが、ラグビーは個々の能力以上にチーム力が試されるスポーツです。体の大きい選手、小さい選手、足の速い選手、遅い選手、全員に役割

があり、得意分野を活かし、足りない部分をチーム全体で補う、それが「ONE for ALL, ALL for ONE」の精神だと感じました。実際、私の周りには身体能力が高い選手が多くなりましたが、私はその中で自分の得意分野を活かし、ラグビーを楽しむことができました。

### 中島社長

輝ける分野を活かし、足りない部分をチーム全体で補う、それが山田社長の考える「ONE for ALL, ALL for ONE」の精神なんですね。私も大好きな言葉です。

### 山田社長

それは組織においても言えることです。従業員の得意不得意を活かし補いながら良い組織を構築する。

ラグビーで学んだことは私の人生に大きく影響を与えています。青年会議所時代も、100人居れば100通りの考えがあるという中で、異なる意見を否定するのではなく尊重する。そうすることで大組織をまとめることができました。会社経営においてもその考えが大いに役立っています。

### 中島社長

完璧な人間など存在しない中で、個々人の輝ける分野は必ずあり、それを見つけることが必要ですね。

昨今では働き方改革が叫ばれていますが、残業を無くすことや休日を増やすことももちろん重要ですが、それ以上に、働いている時そのものを楽しく輝けるものにできれば、働く上でのやりがいが生まれると思います。人生の大変を占める労働の時間を充実させ、豊かな人生になるように、社員それぞれが能力を発揮できる組織をつくるのが我々経営者の課題でもあります。

### 山田社長

おっしゃる通りですね。考え方も育ってきた環境も違う人間が集まった組織をまとめて行く上で、考えをひとまとめにするのではなく、他と違う意見にこそ耳を傾け、それぞれの長所を活かせるよう導くこと、それがリーダーの役割だと思っています。まだまだ勉強していきます。



#### 中島社長

さて、ラグビーワールドカップ日本大会において、この大分が試合会場の1つに選ばれ、更に大分会場では5試合もあるとのこと、驚きました。

#### 山田社長

全国の関係者が驚いていたと思います。2002年に開催されたサッカーワールドカップのノウハウ、ボランティアの土壌があること、そして何より知事を筆頭に県民が大分会場での試合を熱望し、その熱意が評価されての試合数だと感じています。

ラグビーは日本においては他のスポーツに比べるとまだまだ身近ではないものの、世界で見ると高い人気を誇るメジャースポーツの1つで、ラグビーワールドカップは入場者数などでサッカーワールドカップ、夏季五輪に次ぐ「世界で3番目に大きなスポーツイベント」と言われています。回数を重ねるにつれ、規模・人気が拡大し、今回の日本大会も多くの方が日本を訪れるでしょう。

#### 中島社長

ヨーロッパ圏の方々は長期休暇を取得して来日し全国で試合を観戦するそうですね。

大分は観光資源に恵まれていますし、ラグビーワールドカップは開催期間が長いので、試合観戦をしない日は日本を楽しんでもらえ、スポーツツーリズムの活性化に繋がりますね。今回のラグビーワールドカップ大分大会の開催は、大きな経済効果が期待でき、大分が豊かになる。その成功に向けて大分県が一丸となって取り組んだことは大きな財産になるでしょうね。

#### 山田社長

ラグビーワールドカップは、観客数が5試合で計18万9千人、経済波及効果は253億円に上がるという試算が出ています。このチャンスをものにできるよう、開催前の残りの時間で準備を整えてまいります。

#### 中島社長

それは、世界中の方々に大分をアピールする絶好のチャンスですね。今回の大会では「オールブラックス」の愛称で知られるニュージーランドも大分にやってきますね。個人的に世界一のチームのプレーや試合開始前のパフォーマンス、民族舞踊「ハカ」を観るの楽しみにしています。山田社長から見る大分会場で行われる試合の見所を教えてくださいませんか。

#### 山田社長

全試合それぞれ見所満載ですが、個人的にはフィジーとウェールズの試合を楽しみにしています。フィジーは、高いジャンプや瞬間移動のようなステップ、変幻自在のパスワークとランニングから、「フィジアン・マジック」と呼ばれる高い身体能力が特徴です。ウェールズは伝統あるチームで、昔ながらのガツガツしたラグビーします。それは日本代表がお手本としたプレーです。そんな両者の戦いを大分で観ることを幸運に感じています。

#### 中島社長

世界レベルのラグビーがこの大分で観戦できるのですね。ゲーム内容以外に、ラグビーというスポーツが持つ魅力を教えてくださいませんか？

#### 山田社長

ラグビーには「NO SIDE」の精神があります。「試合が終われば勝利した側(サイド)も負けた側もない」という意味です。試合前は睨み合い、試合の間は激しく戦っていても、試合が終われば互いの健闘を称え合います。他のスポーツでは見られない光景ですので、この新鮮な文化に触れていただきたいと思います。「NO SIDE」の精神は選手のみならず、観客にも浸透しています。敵味方関係なく、諸外国の方々と感動を共有できれば、豊かな国際交流が生まれるかもしれません。

#### 中島社長

なるほど。それはラグビーならではの素晴らしい文化ですね。こう



やってお話を伺っていると、日本において一般の方にはまだまだ馴染みの薄いスポーツだったラグビーを、知名度を上げ、ワールドカップ開催にまで導いた道のりなど、当社の歴史にも通ずるものがあると感じます。

当社は九州初の家賃債務保証会社として設立した会社です。当時、九州では馴染みがなく、ご理解をいただき、新しい事業として受け入れられるまでに長い道のりがありました。

今では地元で認知される企業になりましたし、業界の知名度も向上しました。

また、我々が事業を始めるときに、ノウハウを教えてくれた会社もあり、会社を超え業界として成長してきた点は「NO SIDE」の精神に通じるものがあります。

また、この社内報のタイトルからもお分かりのように、当社でも常日頃から「ONE for ALL, ALL for ONE」の精神を大切にしています。

#### 山田社長

何においても初めての試みには不安が付き物ですが、こうして大分から上場を果たす会社が出てきたのは嬉しいことです。

#### 中島社長

大変恐縮です。我々が更なる飛躍を目指すように、ラグビーもワールドカップの開催でこれまで以上に身近なスポーツになると良いですね。

#### 山田社長

一般の方々はラグビーに対して、力と力がぶつかり合う危険なスポーツというイメージを持っているかもしれません。

確かにプロレベルになると、真剣勝負だからこそ怪我はつきものですが、パワフルなパフォーマンスが見所でもあるのですが、昨今では初心者でも参加しやすい様々なプレー方法があります。なかでもタグラグビーは、プレイヤーが腰にタグをつけて、そのタグを取られると3歩以内に他のプレイヤーにパス、1回の攻撃でチームで4回タグを取られると攻守交替するというものです。一般の方も楽しめるプレー方法の確立により競技人口は子どもからシニア世代まで増えています。

#### 中島社長

なるほど。激しいコンタクトプレーを無くせば誰でも安心してプレーできますね。

子どもからお年寄りまで楽しめるスポーツになっているとは存じませんでした。

最後にワールドカップを通じて大分に残したいもの、レガシーをお聞かせいただけますでしょうか。

#### 山田社長

目には見えないレガシーを残したいと考えています。まずは「世界で3番目に大きなスポーツイベント」が大分県で開催できたことを県民の皆さまに誇りに思ってくださいたいです。そして県民の皆さまに本場のラグビーを心から楽しんでいただきたいです。

次に、スポーツを通じた健全な子どもたちの育成を目標に掲げています。

世界レベルの戦い、「NO SIDE」の精神、体が小さくても努力すれば活躍の場を持つということ、それらを肌で感じて未来の大分を牽引する次世代の子どもたちの胸に響くものがあればと望んでいます。

この大分から、世界中が沸くイベントとなるよう、尽力いたします。

#### 中島社長

大分県ラグビー協会の会長として迎える大分大会、重責だとは思いますが、私も精一杯応援させていただきます。

本日は貴重なお話をお聞かせいただきありがとうございました！

#### 山田社長

ありがとうございました。



## ✍️ 寄稿コラム 📧

### チコちゃん、教えて!

内閣総理大臣及び経済産業大臣事業認定資格  
消費生活アドバイザー 水上 宏明 氏

元号が平成から令和に変わりました。祝賀ムードに水を差すわけではありませんが、これでややこしい算数がひとつ増えました。何か書き物をしているとき、ちょっと古い話になると、西暦と和暦がごっちゃになって、それは昭和や平成でいうと何年だったけとなります。パソコンの西暦和暦変換のページを開きながら進めないと、数字が苦手な小生にはこの程度の算数も無理なのであります。

どうしても理解できなかったのが、マイナスとマイナスを掛けるとプラスになるという謎の数式。子どもに「どうして?」と聞かれたときも、「お父さんが生まれる前からそういうもんなんだ」で通していました。

数式上のマイナスを文学におき換えると、おそらく当てはまる言葉は悪徳。何をもって悪徳というかは、それぞれの基準で考えてもらうことにして、悪徳と悪徳を掛け合わせてもなかなか美德とはなりません。節操なく次から次へと相手を変えるのを悪徳の一種だとして、人を騙してお金を引き出すようなことをするのも悪徳。どんなに重ねても、決して美德にはなりません。

では、需要と供給くらいしか言葉を知らない経済学の世界でどうなるかを考えてみます。浪費と借金 は野口英世が得意としているところで、生涯いくら踏み倒したかわからないくらいといいます。ところがこれは経済全体にとっては、消費を活性化したのだからいいことなのです。しかも野口は、没地のアフリカで銅像まで建てられるほどの尊敬を集めました。日本を世界に広めた大功績者なのです。

次に美德と美德のかけ合わせをみてみましょう。節約は美德。貯蓄も美德。しかしこれを全国民が勤儉励行すると、経済は間違いなく破綻します。歴史でいうと江戸時代の寛政の改革で松平定信がやった政策です。経済が冷え込んでしまって、8代将軍吉宗の孫という血筋にもかかわらず不人気不人気を呼んで失脚してしまいました。「世の中に蚊ほどうるさきものは無しぶんぶ(文武)といふて夜も寝られず」と狂歌にまで読まれてしまいました。

ちょっと話がとんでしまいましたが、こういった「美德×美德」がいい結果を生まない現象を「合成の誤謬」といいます。読んで字のごとしで合わせると間違いになるという意味です。世の中の現象をいろいろ考えるとこういった誤謬は結構あります。

5歳児のチコちゃんだったら、わかるかな。「マイナス×マイナス」がどうしてプラスになるの?

水上 宏明 氏  
(みずかみ ひろあき)

内閣総理大臣及び経済産業大臣事業認定資格 消費生活アドバイザー  
日本クレジット協会企画部長を経て現在フリーランスライター。  
著書：『クレジットカードの知識』『クレジットの基本』（日経文庫）  
『金貸しの日本史』（新潮新書）など多数。  
寄稿：「恨みがあるならカネに言え」（コラム）  
『日本金融新聞』に2006年から2014年まで231回連載。  
その他：『月刊消費者信用』『朝日新聞』などに多数。



ジェイリース  
J-LEASE CO., LTD.